

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年11月17日(2005.11.17)

【公開番号】特開2004-123775(P2004-123775A)

【公開日】平成16年4月22日(2004.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2004-016

【出願番号】特願2002-285548(P2002-285548)

【国際特許分類第7版】

C 0 8 F 2/44

H 0 1 J 9/02

H 0 1 J 11/02

// H 0 1 B 3/00

【F I】

C 0 8 F 2/44 A

C 0 8 F 2/44 C

H 0 1 J 9/02 F

H 0 1 J 11/02 B

H 0 1 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A)無機微粒子、(B)重量平均分子量が3,000~300,000の範囲であるバインダーポリマー、(C)エチレン性不飽和結合含有化合物、(D)光ラジカル発生剤、及び(E)熱ラジカル発生剤を必須成分とし、前記(B)成分を前記(C)成分の少なくとも1種に溶解させたものを用いることを特徴とする感光性熱硬化性ペースト組成物。

【請求項2】

前記バインダーポリマー(B)と前記エチレン性不飽和結合含有化合物(C)の配合割合が質量比で100:50~2,000であることを特徴とする請求項1に記載の感光性熱硬化性ペースト組成物。

【請求項3】

前記エチレン性不飽和結合含有化合物(C)が、1分子中に1個のエチレン性不飽和結合を有する液状单官能エチレン性不飽和結合含有化合物と、1分子中に2個以上のエチレン性不飽和結合を有する多官能エチレン性不飽和結合含有化合物とからなることを特徴とする請求項1又は2に記載の感光性熱硬化性ペースト組成物。

【請求項4】

前記熱ラジカル発生剤(E)が過酸化物またはアゾ化合物の少なくとも1種であることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の感光性熱硬化性ペースト組成物。

【請求項5】

所定パターンに形成した溝、凹部、貫通孔を利用してパターンを形成する工法に用いることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の感光性熱硬化性ペースト組成物。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の感光性熱硬化性ペースト組成物を用い、所定のパターンに形成した溝、凹部、貫通孔を利用してパターンを形成する工法にて得られる焼成物パターン。

【請求項 7】

基板上に形成した前記請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の感光性熱硬化性ペーストのパターン被膜を焼成して得られる焼成物パターン。